

北野の風



発行日 令和4年12月22日(木)

岡崎市立北野小学校 令和4年度 学校通信 No. 7

かつて子供だったすべての大人に問う
「あなたが大人になったのはいつですか？」

北野小学校長 丹羽 郁人

かつて子供だったすべての大人に問う。
「あなたが大人になったのはいつですか？」
二十歳になった時？ 成人式を迎えた時？ 働き始めた時？
いや、そうかもしれない。でもね。

あの時かもしれない。
「歩くこと」がここからそこに行くという、ただそれだけのことに
なった時。

だって、子供のころ、道は冒険だったじゃないか。
道ばたに坂があれば坂を上り、溝があればぎりぎりを歩いた。
石ころがあれば思わず蹴り上げた。
シロツメグサを見つければ「四葉のクローバー」を探した。
スズメはさえずり、蝶は舞った。
入道雲は背中を押してくれたし、夕陽は励ましてくれました。
でも、いつのころか「歩くこと」は、
目的地へたどり着くための、一つの手段になった。
「大人」になったのだ。

あの時かもしれない。
「なぜ」なんてことを考えなくなった時。
だって、あのころ「なぜ」って考えるほうが
謎とスリルがいっぱいだったじゃないか。
ぞくぞくするような、わくわくするような「？」が、
いっぱい、いっぱいあったじゃないか。
でも、いつのころからだろうか。
「考えたって無駄さ。そうなっているんだ。」と思うほうが楽にな
ったのは。
「大人」になったのだ。

私たち教職員は学校に通っています。
ひよつとしたら「学校」に、
あの日なくした何か大切な忘れ物を取りに来たのかもしれ
ません。

そして、それは「物」ではなく、
たぶん、あのころの「自分」なのかもしれません。
あのころの「自分」に、会いにきたんです。
教室には、
運動場には、
そして通学路には、
なまいきざかりだった「僕」がいるんです。
泣き虫だけど強がっていた「私」がいるんです。
きつと、輝いていた、「僕」も「私」もいるんです。
あのころの「僕」に出会えたら、こう伝えたいな。
「大人になるってまんざらでもないぞ。
でも、子供って素敵なんだぞ。
とっつともとっつとも素敵なんだぞ。」

私たちは忘れているだけで、
私たちは「子供」だったので、
誰一人例外なく。

「あなたが大人になったのはいつですか？」
そして、覚えていますか。
あのころの自分を……。」



一位で走っていましたが、最後にぬかされてしまいました。「一位は私が取るんだ」と追いぬこうとしましたが、だんだんきょりが遠くなり、二位。目標は達成できたけど、くやしかったです。来年は、絶対一位を取るぞ！



五年二組 平田 莉亜

私は、十二月七日に持久走大会をしました。と中までは調子よく走っていましたが、後ろからの足音が大きくなってきたとき、不安に押しつぶされそうになりました。「りりならできるよ」と、家族や友達言葉が頭をよぎりました。そして、「負けてたまるか」と自分を信じ走り切ることができました。ゴールで一位のカードをもらった時は、最高にうれしかったです。

私は、持久走大会を通して、改めて、走ることが楽しくて大好きになりました。来年も練習して勝ちたいです。



六年二組 中垣 柚香

ぼくは、そんなに走るのが好きではありません。なぜかというところ、苦しいしつらいからです。ですが、今年の持久走大会では、一位を目指すことに決めました。去年の大会では、ゴ

ル直前、後ろから来た子にぬかされ、結果は二位。一位とは八秒差でした。持久走大会当日、朝から緊張して、授業にも全く集中できませんでした。本番のピストルが鳴り、心臓がバクバクしているのが伝わりました。ぼくの作戦は、「とにかくついていき、最後にぬかす。」門の前で、ラストパートをかけました。同時に、ライバルもラストパート。必死についていきました。結果は二位。でも、タイムの差は一秒に。一位には届かず、くやしかったです。タイムを縮めることができました。うれしかったです。

表彰

持久走大会 入賞者

【一年生】

- 〇一位 埜 結心
- 〇二位 穴井 希
- 〇三位 深津 悠伍
- 〇四位 佐藤 信
- 〇五位 橋本 理寛
- 〇六位 内藤 龍星
- 〇七位 中垣 杏惺
- 〇八位 鈴木 遙真
- 〇九位 郷原 碧斗
- 〇十位 後藤 真拓
- 磯村 心美
- 飯塚 絆花
- 平田 有利奈
- 荒川 菜月
- 尾崎 あかり
- 岩瀬 紗反莉
- 池田 衣那
- 吉田 藍那
- 清水 桜琴
- 野口 夏目

【二年生】

- 〇一位 柴田 稜
- 〇二位 飯野 茜成
- 〇三位 宮内 悠成
- 〇四位 三根 煌
- 〇五位 倉谷 悠槻
- 〇六位 佐々木 将悟
- 〇七位 山内 琉庵
- 〇八位 藤原 琉慎
- 〇九位 外島 望
- 〇十位 中根 丈翔
- 中村 美羽
- 太田 智子
- 榎園 ひかり
- 伊奈 暖乃羽
- 鮫島 美涼
- 渡邊 七海
- 森 彩音
- 上原 葵子
- 荒川 百花
- 仁木 心々美

【三年生】

- 〇一位 高須 隼人
- 〇二位 神谷 壮亮
- 〇三位 伊藤 雅
- 〇四位 権太 雅
- 〇五位 杉山 慎
- 〇六位 黄原 大炫
- 〇七位 藤澤 隼希
- 〇八位 清水 喜心
- 〇九位 加形 慎之助
- 〇十位 牧野 套也
- 箸人 佐藤
- 亮 植松
- 雅 竹内
- 太 河津
- 慎 濱田
- 大 小寺
- 隼 鈴木
- 希 佐藤
- 心 桜井
- 結 飯沼
- 瑞 羽希
- 愛 優梨
- 唯 唯愛
- 理 理央
- 祐 祐希
- ま まりな
- 愛 愛奈
- 璃 璃奈

【四年生】

- 〇一位 飯野 渚
- 〇二位 野海 真弘
- 〇三位 矢田 章真
- 〇四位 尾崎 悠
- 〇五位 明利 遥琉
- 〇六位 吉田 葵郁
- 〇七位 三根 蓮
- 〇八位 中村 永翔
- 〇九位 矢田 遥人
- 〇十位 東 泰佑
- 蟹 実利
- 本田 唯華
- 山田 悠乃
- 浅野 陽和子
- 佐藤 羽杏
- 藤原 蓮羽
- 西崎 菜月
- 上原 一葵
- 阿部 まどか
- 杉村 梨紗

【五年生】

- 〇一位 高須 亮太
- 〇二位 西 瞬之輔
- 〇三位 鷺見 心和
- 〇四位 竹内 皓星
- 〇五位 鷺見 心平
- 〇六位 北田 哲世
- 〇七位 紘井 秀斗
- 〇八位 畠山 莉夢
- 〇九位 岩橋 潤大
- 〇十位 岩下 朔也
- 平田 莉亜
- 黄原 麻理
- 太田 恵
- 桜井 彩心
- 伊藤 結菜
- 原田 珠里
- 比嘉 笑和
- 松井 美佳
- 木南 亜優
- 友利 心春

【六年生】

- 〇一位 佐藤 旺廷
- 〇二位 中垣 柚吾
- 〇三位 木下 良太郎
- 〇四位 矢田 永遠
- 〇五位 浅野 健太朗
- 〇六位 蟹山 奏太
- 〇七位 杉山 涼
- 〇八位 伊奈 海斗
- 〇九位 濱田 高栄
- 〇十位 渡辺 凌伍
- 荒井 紗良
- 神谷 結
- 定石 三桜
- 岡本 結衣
- 永田 真歩
- 佐々木 真歩
- 内田 琴子
- 加藤 小晴
- 岸本 若奈
- 浮邊 依愛

◆文詩集みかわの子

入選

- 三年 河津 祐希
- 四年 穴井 陽菜乃
- 五年 岩下 朔也

◆市作文コンクール

優秀賞

- 三年 河津 祐希
- 四年 穴井 陽菜乃

入選

- | | | | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 六年 | 五年 | 四年 | 三年 | 二年 | 一年 | 三年 | 二年 | 一年 |
| 及川 | 濱田 | 紘井 | 武田 | 桜井 | 東野 | 宇野 | 引地 | 居城 |
| 清花 | 高栄 | 秀斗 | 翔夢 | 彩心 | 泰佑 | 心春 | 新翔 | 優 |
| 岸本 | 佐々木 | 岩下 | 山田 | 尾崎 | 加形 | 山口 | 山下 | 山下 |
| 若奈 | 真歩 | 朔也 | 瑛士 | 志門 | 慎之助 | ひな | 翔大 | 翔大 |

夏休みの作文・詩 コンクールより

二年一組 よしだ ゆうま

ほくは、じゅぎょうさんかんだと
思うと、ごきごきしました。音楽のじ
ゅぎょうははじめてで、なんかとく
べつなじゅぎょうさんかんみたいで
した。お母さんが近
くに来てくれて、う
れしかったです。お
母さんのおかげで、
パワーがふえて、う
まくえんそうできま
した。



三年三組 高須 隼人

じゅ業参観では、たくさんの方の
前で、意見を発表することができま
した。とてもきんちようしていて、心
の中では、だいじょうぶかな、と心配
していました。それでも、勇気を出し
て自分が考えを言い切ったときは、
すこく心の中がす
っきりしました。
次のじゅ業参観
でも、今回のよう
に、たくさんの方
の前で自分の意見
を発表したいと思
います。



四年一組 澤田 さくら

私は、授業参観の二時間目、音楽の
リズムアンサンブルをやりました。

私のチームは「カルピス」という言
葉をリズムに乗せて発表しました。
きんちようしたけど、楽しかったで
す。

三時間目の授業参観は理科でし
た。月は太陽と同
じように東から南
を通って西へ動く
ことを、タブレッ
トを使って調べま
した。タブレット
を動かすとプラネ
タリウムのように
星空が動くことが
わかりました。
家でも星空を調べてみたいです。



五年一組 本田 夢華

十一月十八日金曜日に授業参観が
ありました。私のお母さんは、二時間
目の算数を見に来てくれました。私
は、お母さんがせつかく見に来てく
れたのがんばろうと思えました。

授業の内容は、私の好きな「面積」
の勉強でした。四角形の面積をグル
ープの友達といっしょに考えまし
た。難しい問題も
あったけれど、よ
く分かって楽しか
ったし、お母さん
に見てもらえて、
うれしかったです。
これからは、苦
手な教科もがんば
っていききたいです。



六年二組 杉崎 美優

今日は授業参観だ。私は手を挙げ
ることがあまり得意ではない。発表
して失敗したらどうしよう。間違っ
た答えを言って、みんなに笑われる
のが嫌だ。不安な気持ちがついつい
いく。それでも、今日は家族が来る。

私は家族が大好き
だ。私には妹と弟
がいて、三人兄弟
の一番上だ。末っ
子でお調子者の弟
がもうすぐ小学生
になる。そんな弟
に、北野小学校つ
てこんなところなんだよと知ってほ
しいと思いい、今日は手を挙げた。

授業が終わった後、お父さんとお
母さんがほめてくれた。ほめられて
うれしかった。



持久走大会 十二月七日(水)

一年三組 はなわ ゆうしん

じぎゅうそう大かいでは、スター
トのあいすにおどろくことなくはし
り出すことができました。はしって
いると、まえにだれもいなくなり、そ
のあと、二いのもだちときょうそ
うになりました。さいごまでがんば
ってはしったので、一いをとれまし
た。うれしかったです。

二年一組 しばた りょう

し走の後、あと五びょうで新記ろ
くだと聞いて、本番でとってやろう
と思いました。本番までお父さんと
れんしゅうしたり、作せんを立てた
りしました。

大会では、自分の
前を、学年記ろくを
もっている子が走っ
ているとイメージす
ることにして、その
子をぬかすぞ！とい
う気もちではしま
した。
新記ろくが出て、本当によかった
です。



三年三組 佐藤 璃奈

私は、じぎゅう走大会に向けて、毎
日学校に来て、同じコースを走る練
習してきました。つかれていやは
なっても、あきらめずに練習を続け
ました。本番では、お父さんが大きな
声でおうえんをしてくれ、さい後の
ラストパートで何人もぬかして一
位になることができました。四年生
では、新記録で一位を取りたいです。

四年三組 本田 唯華

今年の持久走大会は、三位以内に
入ると決めていました。とにかく最
後まで全力で走り切る！そんな気持
ちで本番をむかえました。外周では、

社会見学

中央クリーンセンター 十一月一日(火)

四年二組 吉田 有咲

私は、中央クリーンセンターの見学に行つて、ごみについて学びました。中央クリーンセンターでは、ごみの出し方、仕事をしている部屋、道具などを見ました。特に、「溶融炉」はごみを約千八百度で溶かして、手が溶けてしまつくりの熱さだと言っていたので、びっくりしました。授業で学んだことをもっとくわしく知れたので、とても勉強になりました。



生活科 町たんけん 柵塚みそ

十一月二日(水)

二年二組 やなぎまち さくら

町たんけん一日目では、「ますつみそ」へ行きました。

一つ一つのおけに年れいがついていて、年をとっていきたり、まだ年をとっていなかつたりしました。年れい



のちがうおけのさわりごちがぜんぜんちがついていふしぎでした。おけにもちがいがあつて、おもしろかつたです。

生活科 町たんけん 三菱自動車 十一月四日(金)

二年三組 すきはら ゆつき

わたしは、「三びし自動車」へ行つたことがなかつたので、この町たんけんを楽しみにしていました。一年間に二十二万台も車を作っていることや北野小五十分の広さの会社であること、とてもおどろきました。たくさん学んだことを、いろいろな人に伝えていきたいです。



修学旅行

十一月八日(火)・九日(水)

六年一組 前村 幸美

私は、実行委員を務めました。修学旅行に行く前は、スローガン決めやしおりのイラスト募集のアンケート作りをしました。みんなが仲良く楽しくいくことができる修学旅行にし

たいと思ひながら取り組みました。

当日は、班長として、班をまとめたかり聞いたりして、部屋のみんなに伝えることをがんばりました。

実行委員をやつて学年のみんなのために動けたこと、みんなと仲良くいっしょに行けたことがうれしかったです。

また、機会があればやりたいです。



六年二組 岸本 奈夏

私は修学旅行で奈良と京都に行きました。京都駅空中径路では、夜景がとてもきれいでした。旅館では、部屋長として、貴重品を集めて先生に渡したり、ふとんの整とんをしたりする仕事が大変でしたが、友達が協力をしてくれました。みんなで食べた夕食のすき焼きは、とてもおいしかったです。

映画村では、家族におみやげを買つたり、アトラクションを回つたりと、班で楽しい時間を過ごしました。

事前に班のみんなで計画を立て、旅行中も相談をしながら楽しく過ごすことができた修学旅行は、私の大切な思い出になりました。



六年三組 浮邊 依愛

今回、私たちのスローガンは、「For 優常・友助・優場」でした。このテーマが達成できるように、みんな考え、行動しました。修学旅行では、集団行動をする機会がたくさんありました。自分勝手な行動をしてはならない、一人一人がルールを守り協力することで、初めて集団行動が成り立つことを学びました。班の友達とは、「五分前行動」を常に意識して話し合うことで絆を深めることができました。自分たちの成長を感じることができた修学旅行でした。



授業参観

十一月十八日(金)

一年二組 あだち たいが

ぼくは、とうとくをがんばりました。おはなしに出てきたオオカミになつて、くまにはしをとおしてもらえたから、「いいきもちになつたよ」と、はつぷようしました。おかあさんに、はつぷようしたことをほめてもらえて、うれしかったです。

